

2012 年 1 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日の間までに
東京科学大学(旧東京医科歯科大学)にて法医解剖されたご遺族の方へ

研究への協力のお願い

「課題名：頸部圧迫における甲状腺関連ホルモンの死後血中濃度と甲状腺重量を用いた補正式
の診断的有用性の検討」
にご協力いただく方への説明書

(1) 研究の概要について

承認番号： 第 I2025-296 番

研究期間： 研究実施許可日から西暦 2026 年 3 月 31 日

研究責任者：東京科学大学大学院医歯学総合研究科法医学分野・教授・鵜沼香奈

* 本研究は、医学系倫理審査委員会の承認と研究機関の長の許可を得ております。この研究は、厚生労働省と文部科学省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」を守り、倫理委員会の承認のうえ実施されます。

<研究の概略>

頸部圧迫による死亡には自殺や他殺が含まれるため、法医学・犯罪捜査において重要な問題です。しかし、外見上の特徴が乏しい場合には死因の判断が難しく、犯罪見逃し・冤罪などの予期せぬ不利益が生じることがあります。これまで、甲状腺ホルモンの一つであるサイログロブリンが頸部圧迫時に上昇する可能性が指摘されてきましたが、例外も多く、実用性には限界があります。

そこで本研究では、頸部圧迫の診断補助としてその他の甲状腺に関連したホルモンの変化を調べることで、頸部圧迫の死後診断をより正確に行うための手がかりとなるかを明らかにすることを目指しています。

(2) 研究の意義・目的について

<研究の意義>

頸部圧迫によって甲状腺が直接圧排されると、死後血中甲状腺ホルモンが変動する可能性があります。本研究では、こうしたホルモンの変化を客観的に解析することで、従来の外表所見に頼った診断に科学的根拠を補うことを目指します。さらに、甲状腺重量を用いた補正を行うことで個体差による影響を最小限に抑え、より精度の高い評価を試みます。これにより、診断の精度が向上し、ひいては死因の究明や公衆衛生、犯罪捜査における科学的知見の向上が期待されます。

<研究の目的>

本研究では、当分野で行われた法医解剖で得られた血液検体を用いて、甲状腺に関連したホルモンの変化と頸部圧迫の有無との関連を解析し、その診断的有用性を検討することを目的とします。さらに、解剖で得られた甲状腺重量の情報からホルモン濃度を補正することで、診断精度向上につながるかを検証します。

(3) 研究の方法について

対象症例数は2012年1月1日から2024年12月31日までに当分野で行われた解剖症例のうち120症例であり、法医解剖で得られた血液検体を使用します。検査対象項目はサイログロブリン、遊離トリヨードサイロニン、遊離サイロキシン、甲状腺刺激ホルモンの4種類で、個人情報を完全に匿名化した上で検査会社に検査を外注いたします。また、剖検所見及び警察捜査から得られた死因・性別・年齢・既往歴・薬歴・死後経過時間に関する情報も収集し、これらの情報をもとに統計解析を行います。ご遺族に追加情報の提供を依頼することはありません。

(4) 試料・情報等の保管・廃棄と、他の研究への利用について
検査結果は東京科学大学のガイドラインに従って厳重に保管し、10年を経過した後匿名のまま処分します。他の研究へ利用することはありません。

(5) 予測される結果（利益・不利益）について
該当する方の現在・未来の鑑定内容には全く影響はなく不利益を受けることもありません。また、この研究への参加を同意されない場合でも不利益をこうむることはありません。

(6) 研究協力の任意性と撤回の自由について
この研究に関して不明な点がある場合、あるいはデータの利用に同意されない場合には、東京科学大学法医学分野までご連絡下さい。そのことによって、不利益を被ることはありません。ただし、撤回の時期が研究成果を公表した後の場合には、同意の撤回に従った措置を講じることが困難となりますのでご理解ください。

(7) 個人情報の保護・取り扱いについて
解析にあたっては個人情報を匿名化し、その保護には十分配慮します。解析は全て東京科学大学法医学分野内で実施します。学会や論文などによる結果発表に際しては、個人の特定が可能な情報はすべて削除されます。

(8) 研究に関する情報公開について
学術的に有用性のある成果が得られた場合には、国内外の学会で報告するとともに国内外の学術誌に投稿し発表します。なお、研究成果を公表する際には、匿名化したデータをさらに統計処理することで、個人が特定されないように配慮します。

(9) 研究によって得られた結果のお知らせ
研究成果は上記「(8) 研究に関する情報公開について」の形で公表を予定しています。個別に結果をお知らせすることはありません。

(10) 経済的な負担および謝礼について

特にご遺族の方に新たにご負担いただくことはありません。謝礼が支払われることもありません。

（１１）研究資金および利益相反について

本研究は法医解剖経費、運営費でまかなわれています。法医解剖経費は依頼元と東京科学大学の契約に基づき、東京科学大学に支払われています。本研究の実施にあたって、本学利益相反マネジメント委員会に対して研究者の利益相反状況に関する申告を行い、同委員会による確認を受けています。

※利益相反とは、研究者が企業など、自分の所属する機関以外から研究資金を提供してもらうことによって、研究結果が特定の企業にとって都合のよいものになっているのではないか、研究結果の公表が公正に行われらないのではないかなどの疑問を第三者から見て生じかねない状態のことを指します。

（１２）研究に係るご相談・問い合わせ等の連絡先：

＜問い合わせ先＞

東京科学大学 大学院医歯学総合研究科 法医学分野 教授 鵜沼香奈

住所：113-8519 東京都文京区湯島1-5-45

電話：03-5803-5199（対応可能時間帯：平日 9:00～17:00）

FAX：03-5803-0128

＜苦情窓口＞

東京科学大学研究推進部 研究基盤推進課 生命倫理グループ

電話：03-5803-4547（対応可能時間帯：平日 9:00～17:00）

※他の研究参加者の個人情報や研究の独創性の確保に支障が生じない範囲内で、研究計画書や研究の方法に関する資料を閲覧することができます。ご希望の際は、上記の研究者連絡先までお問い合わせください。